61 01 10 03 02 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月29日（金）

事務事業	中学生社会体験チャレンジ事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導・幼児教育担当	管理番号	6135
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政分野別 計画施策名 大項目	200002 次代を担う人と文化を育むまちづくり（教育・文化）	根拠法令個別計画等	文部科学省中学校学習指導要領				
中項目	200001 共に学び、成長が実感できるまちづくり						
小項目	200001 「生きる力」を育む学校教育の推進						

事業概要	市内市立中学校２年生を対象に３日間程度、実社会で働く体験をすることにより、勤労観や職業観を築く。
目的 ※何のために	中学生が望ましい勤労観や職業観を身に付けるため。
対象 ※誰・何を対象に	市内市立中学校２年生
手段 ※どのように	中学生が、事業所において３日間程度の職場体験学習を行う。
成果 ※何を求めるか	生徒が望ましい勤労観や職業観を身に付けること。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	10	教育費	03	中学校費	02	教育振興費	中学生社会体験チャレンジ事業	794,546
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 体験希望生徒の募集	・
・ 職場体験の実施	・
・ 職場体験実施報告書の作成	・
・ 推進委員会の開催	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画		職場体験の実施 報告書の作成 推進委員会の開催	職場体験の実施 報告書の作成 推進委員会の開催	職場体験の実施 報告書の作成 推進委員会の開催	職場体験の実施 報告書の作成 推進委員会の開催	職場体験の実施 報告書の作成 推進委員会の開催	
事業費	予算（現額）	872,000	834,000	824,000	834,000	825,000	
	決算額	822,887	797,192	794,546	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	822,887	797,192	794,546	834,000	825,000	
人件費	従事職員数（人）	0.19	0.19	0.26	0.38	0.38	
	人件費相当試算 ※１	1,478,010	1,478,580	2,107,300	3,096,240	3,096,240	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		2,300,897	2,275,772	2,901,846	3,930,240	3,921,240	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	推進委員会開催回数	目標値	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	□
			実績値		2.00	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年１回の開催を目標値とする							
		開催実数									
■	活動指標２	協力事業所数	目標値	件							■
			実績値		378.00	357.00	353.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標値は設定しない							
		受入事業所数									
■	活動指標３	社会体験チャレンジ事業参加人数	目標値	人							■
			実績値		1,303.00	1,272.00	1,246.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		生徒数は変動するため、目標値は設定しない。各校中学２年生を参加対象とする							
		参加人数									
□	成果指標１	社会体験チャレンジ事業参加割合	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		参加率１００％を目標値として設定する							
		参加生徒数／対象生徒数									
■	成果指標２	夢や目標を持っていると答えた生徒の割合	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		81.40	79.10	80.80	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		１００％を目標値として設定する							
		全国学力学習状況調査									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 中学２年生を対象に実施し、全員が参加している。協力事業所も必要数が安定して確保できている。推進委員会も年２回実施している。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 「夢や目標を持っている生徒」は、目標値には達していないが、県の数値（７３．７％）を７．１ポイント上回る数値となっている。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	課長補佐兼指導主事　荻野　貴弘

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	中学生社会体験チャレンジ事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導・幼児教育担当	管理番号	6135

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

推進委員会では事業所と学校間の連携の仕方について、共通理解が図られ、事業のスムーズな実施の支援となった。生徒は学校で体験できない貴重な体験をすることができるとよい評価をしており、事業の目的を達成することができたと考える。

評価者	学校教育課長　下条　徹

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

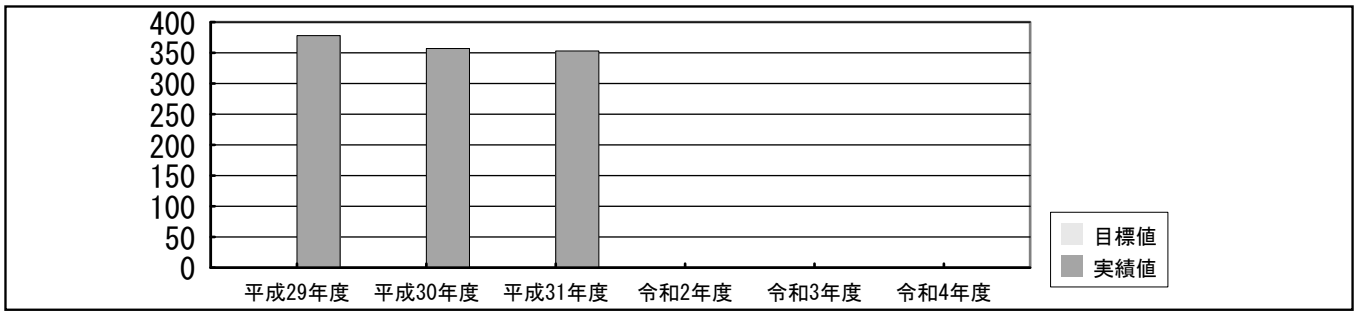
改善・改革案	

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

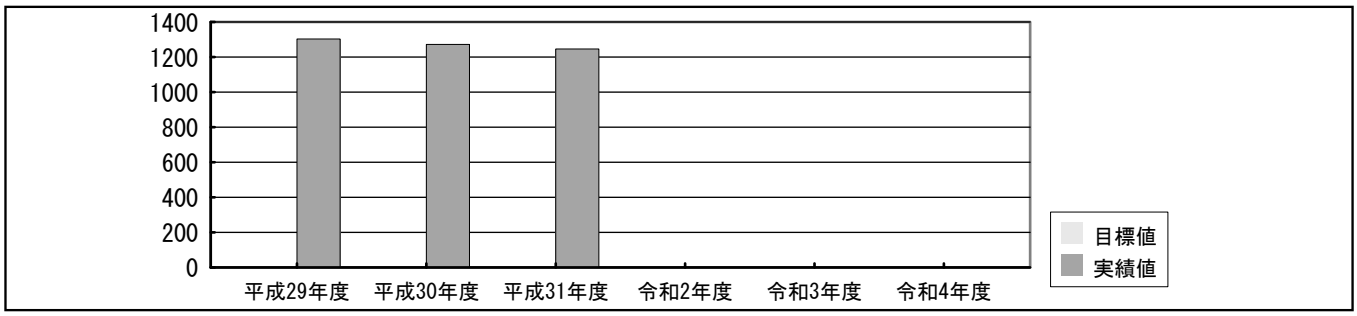
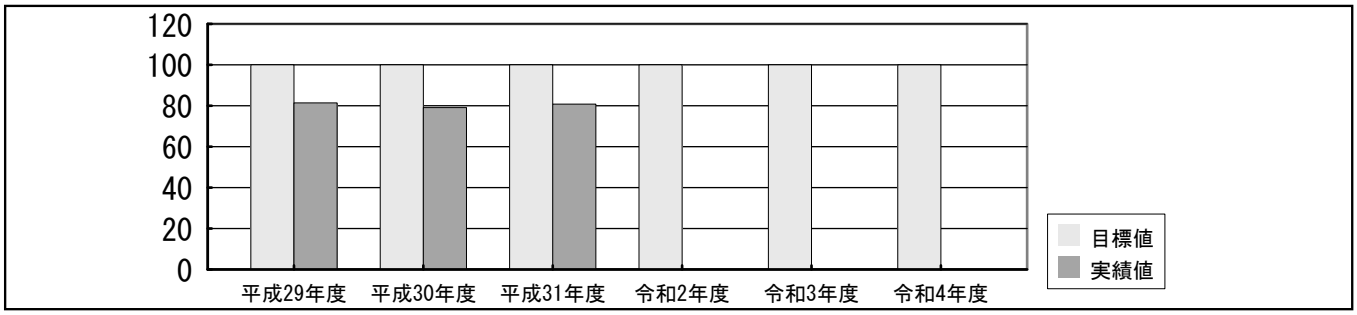
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	活動指標２	指標名	協力事業所数



区分	活動指標３	指標名	社会体験チャレンジ事業参加人数



区分	成果指標２	指標名	夢や目標を持っていると答えた生徒の割合